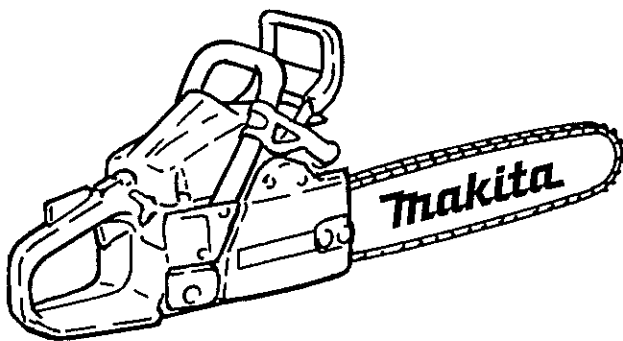


Makita

エンジンチェーンソー

450mm モデル **DE4345**

取扱説明書



目次

●エンジン製品の安全上のご注意	2
●エンジンチェーンソーの安全上のご注意	5
●シンボルマークについて	6
●仕様	7
●各部の名称	7
●使用準備	8
・ガイドバー、チェーン刃の取り付け方	
・チェーン刃の調整	
●運転	9
・燃料とチェーンオイルの給油	
・始動・停止	
・チェンブレーキについて	
●切断作業	13
・基本的な作業	
・各種の切断作業例	
●点検と整備	15
・チェーン刃の目立て	
・ガイドバーの清掃	
・チェンブレーキ、スプロケットガードの清掃	
・エアフィルタの清掃と取り替え	
・燃料タンクフィルタの取り替え	
・スパークプラグの点検と整備	
・キャブレタ(気化器)の調整	
・寒冷時の運転	
●格納方法	18

このたびはマキタエンジンチェーンソーをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- ・お求めの製品を安全に能率よくお使いいただくために、ご使用前に取扱説明書をよくお読みください。
- ・この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。

注意文の **警告**、**注意**、**注** の意味について

ご使用上の注意事項は **警告** と **注意**、**注** に区別していますが、それぞれ次の意味を表します。

警告：誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

注意：誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、**注意**に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注：製品および付属品の取り扱い等に関する重要なご注意。

エンジン製品の安全上のご注意

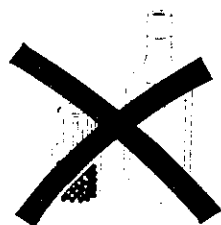
- 引火、火災、けがなどの事故を少なくするために、次に述べる「エンジン製品の安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「エンジン製品の安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

警告

1. ご使用前に取扱説明書は必ずよくお読みください。
 - 機械の取り扱い知識が不十分な場合、事故の原因になります。



2. 次のときは、機械を使用しないでください。事故の原因になります。
 - 疲れているとき、身体が不調なとき。
 - 酒類や薬物を飲んで正常な運転操作ができないとき。



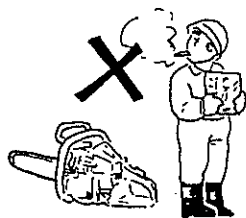
3. 袖や裾の締めりのよい服装をしてください。また手ぬぐいやタオルを首から下げ作業しないでください。
 - 回転部に巻き込まれ、けがの原因になります。
4. 身体を冷やさなような服装で使用してください。
5. 保護帽（ヘルメット）、耳栓、保護メガネ、防振性のよい手袋、滑り止めの付いた安全靴等の保護具を着用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。



⚠ 警 告

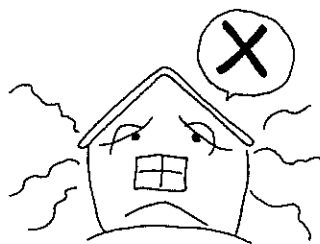
6. 引火、火災の恐れがあります。

- 燃料の給油は、火気のない所で行なってください。
- 燃料の給油、使用中、手入れなどをするときは、タバコを吸ったり、火気を近づけないでください。
- 燃料の給油および燃料を抜くときは、必ずエンジンを停止し、エンジンが冷えてから行なってください。
- 燃料は、こぼさないよう注意してください。こぼれたときは、きれいに拭き取ってください。
- 燃料の給油をした場所で、エンジンを始動させないでください。すくなくとも3 mは、離れてください。
- ガソリン、ガス、塗料、接着剤など引火性のある物の近くでは、使用しないでください。



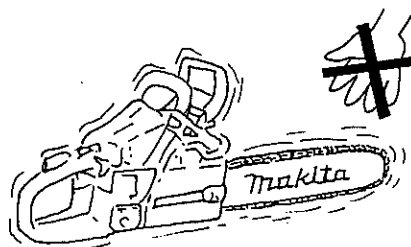
7. エンジンの排気ガスは有害です。屋内など通気の悪い場所で使用しないでください。

- 通気の悪い場所で使用すると、排気ガス中毒の原因になります。



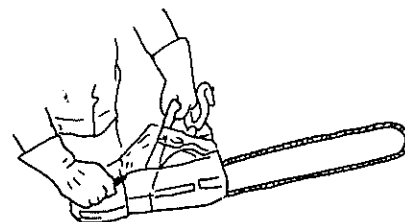
8. 回転している刃物類に、手や顔、衣服などを不用意に近づけないでください。

- けがの原因になります。



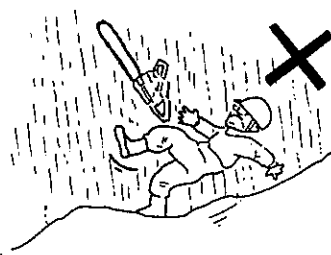
9. 機械は、両手で確実に保持してください。またハンドル部は、常に乾いた状態にし、手が滑らないようにしてください。

- 確実に保持しないと、けがの原因になります。



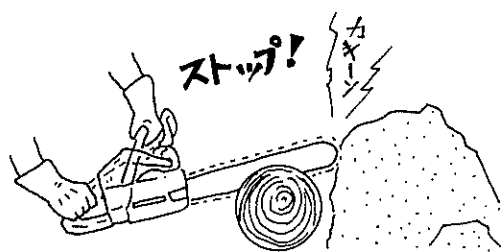
10. 雨上がりなど、足元が滑りやすい場所では、使用しないでください。また常に足元に注意し、バランスが保てる無理のない姿勢で使用してください。

- 転倒して、けがの原因になります。



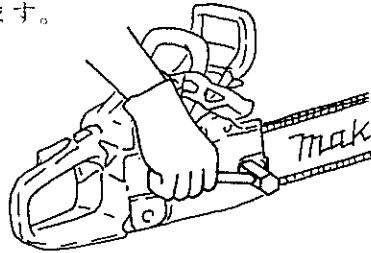
11. 使用中、機械の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにエンジンを停止させ使用を中止してください。

- そのまま使用していると、事故の原因になります。



⚠ 注 意

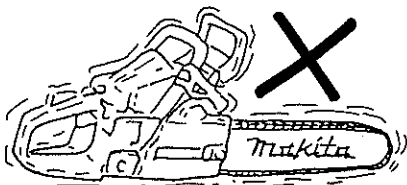
1. 使用前に、ネジのゆるみや欠落した部品などないか確認してください。
 - 不完全な機械を使用すると、けがの原因になります。
2. 刃物類や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
 - 確実でないと、はずれたりし、けがの原因になります。



3. 調節キーやレンチなどは、必ず取りはずしてください。
 - 付けたままでは、使用時に飛び出して、けがの恐れがあります。
4. エンジンの始動、使用時には、周囲の人や障害物に十分注意して、必ず一人で操作してください。事故の原因になります。

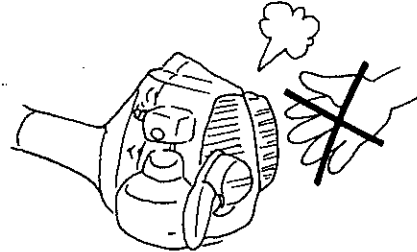


5. エンジンの始動は、安定のよい場所で行なってください。事故の原因になります。
6. 騒音に関しては、法令および各都道府県の条例で定める騒音規制があります。状況によって、しゃ音壁を設けて作業してください。
7. エンジンをかけたまま放置しないでください。事故の原因になります。



8. 使用を中断したり、移動するときは、必ずエンジンを停止させてください。
 - エンジンをかけたままですと、事故の原因になります。

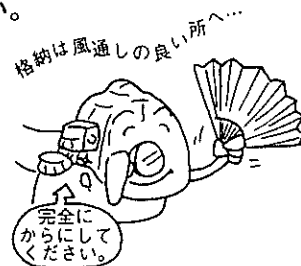
9. 使用中およびエンジン停止直後は、マフラーなどの高温部に身体を触れないように注意してください。
 - やけどの原因になります。



10. 点検整備するときは、エンジンを停止させ、エンジンが冷えてから行なってください。またスパークプラグからプラグキャップをはずしてください。
 - 停止直後やプラグキャップを付けたままですと、やけどや不用意な始動による事故の原因になります。



11. 付属品および交換される部品は、必ず指定されたマキタ純正品をご使用ください。
 - マキタ純正部品以外のもを使用されますと、事故やけがの原因となる恐れがあります。
12. 長期間ご使用にならないときは、燃料を抜いて、乾燥したきれいな場所に格納してください。



13. いつも安全に能率よくご使用いただくために、定期点検をお勧めします。点検修理は、お買い求めのマキタ登録販売店またはお近くのマキタ直営事業所にお申しつけください。
 - 修理の知識や技術のない人が修理しますと、事故やけがの原因になります。

エンジンチェーンソーの安全上のご注意

先にエンジン製品としての共通の注意事項を述べましたが、エンジンチェーンソーとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

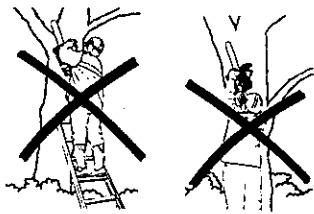
⚠ 警 告

1. 使用時は、チェーンソーの左側に立って使用してください。

・的確な操作ができず、事故の原因になります。

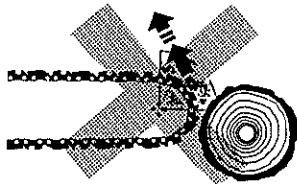
2. ハシゴや木に登っての使用は、しないでください。

・落下し、事故の原因になります。



3. ガイドバーの先端部では、切断しないでください。

・跳ね返り（キックバック）が生じ、事故の原因になります。



4. 使用中にチェーン刃が、石や金属などの障害物に当たったときは、すぐエンジンを停止させ、異常がないことを確認してください。

・異常があると、切断能率の低下およびチェーン刃に切断が生じ、事故の原因になります。

5. [事業者の方へ]

このチェーンソーを使用して伐木（立ち木を倒す作業）、造材（倒した木を切断する作業）等の作業をされるときは、伐木等の業務に係わる特別教育を受けた人に行なわせてください。

<関連法令>

労働安全衛生法	第59条第3項
労働安全衛生規則	第36条第8号の2
安全衛生特別教育規定	第10条の2

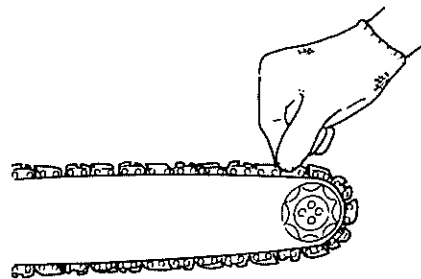
⚠ 注 意

1. 行政機関では、チェーンソーの1日の使用時間は2時間以内、連続操作時間は10分以内にするよう指導しています。作業時間の組み合わせを上手に計画してご使用ください。

2. 寒いときの休憩や昼食時には暖をとり、身体の保温に心がけてください。

3. チェーン刃を取り扱うときは、手袋を着用してください。

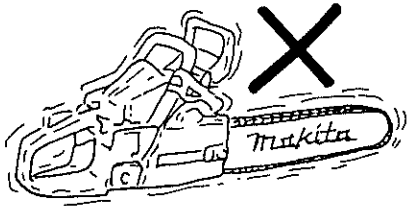
・けがの原因になります。



⚠ 注 意

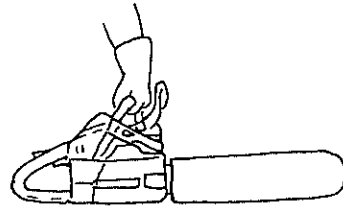
4. ガイドバー、チェーン刃の取り付け、チェーンオイルの給油量の調整をするときは、必ずエンジンを停止し、エンジンが冷えてから行なってください。

- エンジンをかけたままでは、不意にチェーン刃が回りだしたときに、事故の原因になります。また停止直後では高温となっているため、不用意に触れるとやけどの原因になります。



5. チェーン刃は、必ず適正な張りに調整してください。

- 張り具合が不適正ですと、チェーン刃の切断、ガイドバーからのはずれが生じ、事故の原因になります。



6. エンジンは、ガイドバー、チェーン刃を確実に取り付けてから始動してください。

- 確実でないと、はずれたりして、事故の原因になります。

7. エンジンを始動させる前に、チェーン刃が地面や樹木その他の障害物に触れていないことを確かめてください。

- チェーン刃が地面や樹木その他の障害物に触れていると、事故の原因になります。

8. 2台以上で作業するときは、安全な距離をおいてください。

- 事故の原因になります。

9. 運搬するときは、チェーンカバーを付けてください。

- けがの原因になります。またチェーン刃の損傷防止になります。

● シンボルマークについて

- 製品および取扱説明書にシンボルマークを掲載しております。このシンボルマークの意味をご理解のうえご使用ください。



取扱説明書をよくお読みいただき、内容を十分ご理解のうえご使用ください。



保護メガネ、耳栓、保護帽などの保護具を着用してください。



混合燃料を入れてください。



チェーンオイルを入れてください。

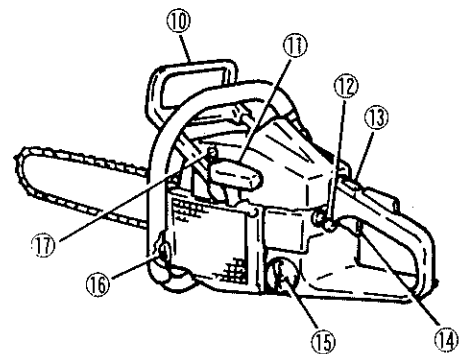
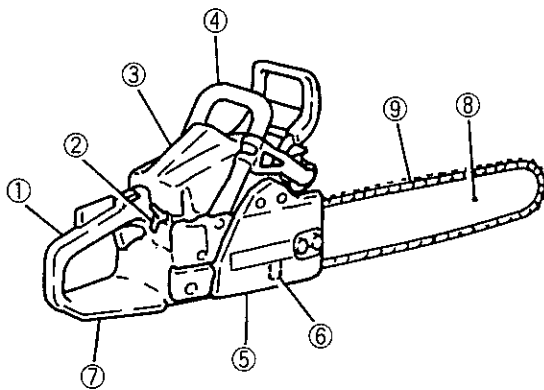
●仕様

区分	項目	単位	DE4345	
エンジン	形式		空冷2サイクル単シリンダ	
	排気量	cc.	43	
	キャブレタ		ダイヤフラム式	
	点火方式		フライホイールマグネット：電子点火方式	
	スパークプラグ		NGK BPMR 7A	
	始動方式		リコイルスタータ（デコンプレッションバルブ付き）	
	クラッチ		自動遠心式	
燃料	混合比		25～40（無鉛ガソリン）：1（マキタ2サイクル専用オイル）	
	タンク容量	ℓ	0.56	
チェーンオイル	使用オイル		マキタチェーン専用オイルまたはエンジンオイル	
	タンク容量	ℓ	0.28	
切断部	給油方式		自動	
	チェーン刃	タイプ		21BP
		ピッチ	インチ	.325
		ゲージ	インチ	.058
		ドライブリンク数	枚	72
	ガイドバー	長さ	mm	450
		ゲージ	インチ	.058
安全装置			チェーンブレーキ	
重量		kg	4.6	

重量は、ガイドバー、チェーン刃を除いた値です。

●改良のため、主要機能および形状等は変更することがありますのでご了承ください。

●各部の名称



- ①スロットルハンドル
- ②チョーク
- ③カバー
- ④前ハンドル
- ⑤オイル調整ネジ
- ⑥スプロケットガード

- ⑦後ハンドガード
- ⑧ガイドバー
- ⑨チェーン刃
- ⑩前ハンドガード
- ⑪スタータハンドル
- ⑫スイッチ

- ⑬ロックノブ
- ⑭スロットル
- ⑮燃料タンクふた
- ⑯オイルタンクふた
- ⑰スターティングバルブ
（デコンプレッションバルブ）

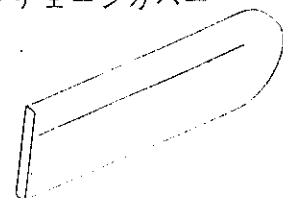
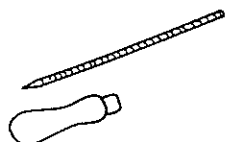
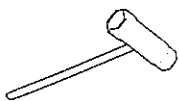
通常付属品

●レンチ

●丸ヤスリ

●星型レンチ

●チェーンカバー



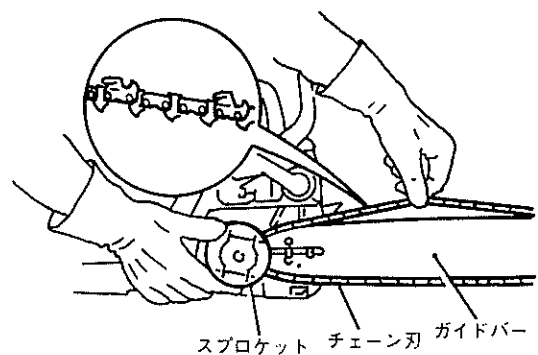
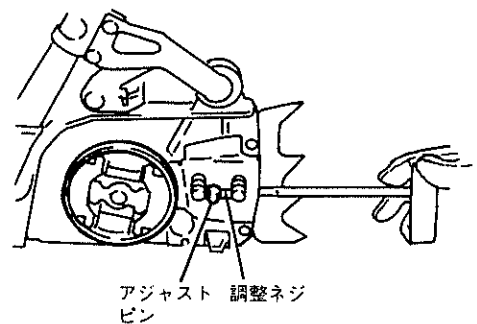
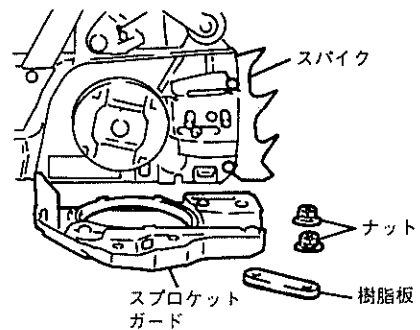
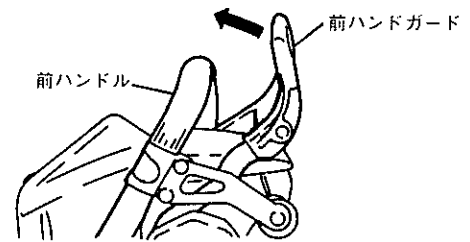
● 使用準備

⚠ 注 意

- ガイドバー、チェーン刃の取り付け、調整をするときは、必ずエンジンを停止し、エンジンが冷えてから行なってください。
 - ・ エンジンをかけたままでは、不意にチェーン刃が回り出したときに、事故の原因になります。また停止直後では、高温となっているため、不用意に触れると、やけどの原因になります。
- チェーン刃を取り扱うときは、手袋を着用してください。
 - ・ けがの原因になります。

◎ ガイドバー、チェーン刃の取り付け方

- ① スプロケットガードをはずす前に、チェーンブレーキが解除されているか確認してください。チェーンブレーキは、前ハンドガードが前ハンドルに当たるまで引くと解除できます。
- ② スプロケットガード固定用の2コのナットをはずし、スプロケットガード、樹脂板を取りはずしてください。
- ③ チェーン刃の調整ネジを回して、アジャストピンをスプロケット側へ寄せてください。
- ④ ガイドバーを本体にはめてください。この場合ガイドバーの丸穴を、アジャストピンに入れてください。
- ⑤ 刃の向きに注意してチェーン刃を、遠心クラッチ裏側のスプロケットにきちんと入れてください。
- ⑥ チェーン刃をスプロケット側から順番にガイドバーの溝に入れてください。
- ⑦ チェーン刃のドライリンクがガイドバー下側の溝にはまるまで、調整ネジを右に回してください。このとき、ガイドバーを本体におしつけながら行ってください。
- ⑧ スプロケットガードを取り付け、レンチで固定用のナットを軽く締め付けてください。



◎チェーン刃の調整

⚠ 注 意

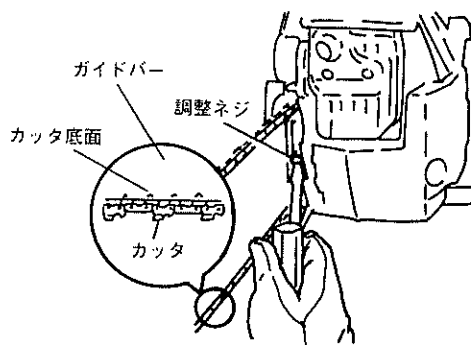
- チェーン刃は、必ず適正な張りに調整してください。
 - ・チェーン刃の張りすぎは、チェーン刃の切断、ゆるいときは、チェーン刃がガイドバーからはずれ、事故の原因になります。

注

- チェーン刃の張りすぎは、ガイドバーの摩耗やスプロケットノーズ破損の原因になりますので、必ず適正な張りに調整してください。

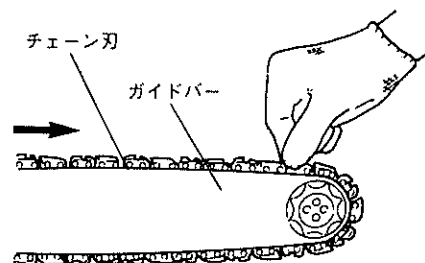
- チェーン刃が取り付けましたら、次の手順で張りの調整をしてください。

①ガイドバーの先端を持ち上げて、チェーン刃のカッタ底面がガイドバーに接触するまで、調整ネジを時計方向へ回してください。



②ガイドバーの先端を持ち上げた状態で、スプロケットガード固定用のナットを締め付けてください。

- ③チェーン刃の張り具合を確認してください。
チェーン刃を持って矢印の方向へ動かしたとき、ガイドバーの下側にチェーン刃のカッタ底面が接触し、軽く動けば適正です。
チェーン刃が動かなかったり、動きが悪い場合は、張りすぎですので再度調整してください。

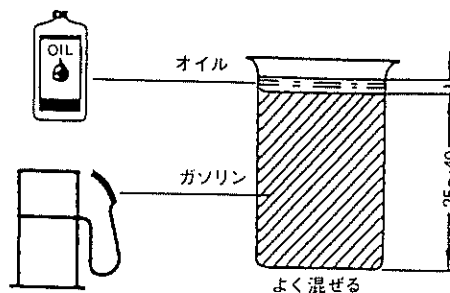


●運 転

◎燃料とチェーンオイルの給油

1. 燃料について

- 本機に使用する燃料は、無鉛ガソリンと2サイクル専用エンジンオイルを25：1～40：1の割合で混ぜた混合ガソリンです。
- 無鉛ガソリンに混ぜるオイルの種類や混合する割合が異なると、エンジン不調の原因になりますので指定されたオイルを指定された割合で混合してください。



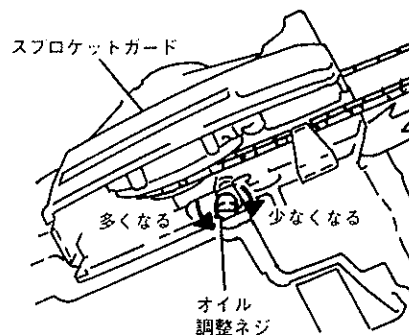
2. チェーンオイルについて

- チェーンオイルは、チェーンソーを運転すると自動で給油されます。
 - 給油量は、オイル調整ネジを回すことによって調整できます。
- 切断される木材の状態に応じて調整してください。
- 使用するチェーンオイルは、マキタチェーン専用オイルまたは下記のエンジンオイルをご使用ください。

夏期：

SAENo.30

冬期および樹脂の多い木：SAENo.10W-30



⚠ 注 意

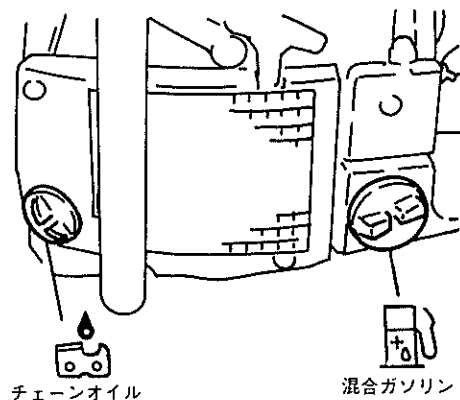
- チェーンオイルの注油量を調整される場合は、必ずエンジンを停止させてから調整してください。
- エンジンをかけたままでは、不意にチェーン刃が回り出したときに、事故の原因になります。

注

- 立ち木を切断する場合は、樹木への影響を少なくするため植物性のオイルをご使用ください。

3. 燃料、チェーンオイルの給油

- 燃料およびオイルタンクのふたが上になるようにチェーンソーを置いて、それぞれのふたを開けてください。
- 入れすぎてこぼさないように注意して、混合ガソリン、チェーンオイルを給油してください。
- 給油が終了したら、それぞれのタンクのふたをしっかり締めてください。



⚠ 警 告

- 燃料給油のときは、必ず次の事項をお守りください。引火、火災の原因になります。
- 火気のない所で行なってください。またタバコを吸ったり、火気を近づけないでください。
- エンジンを停止させ、エンジンが冷えてから行なってください。
- 燃料は、こぼさないよう注意してください。こぼれたときは、きれいに拭き取ってください。

◎始 動・停 止

⚠ 警 告

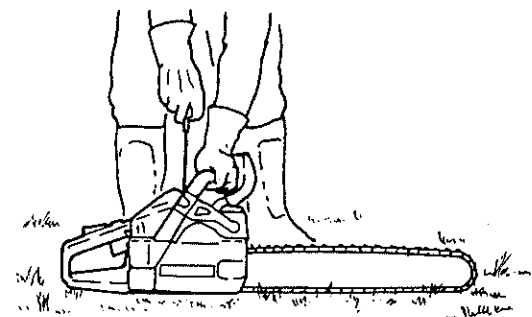
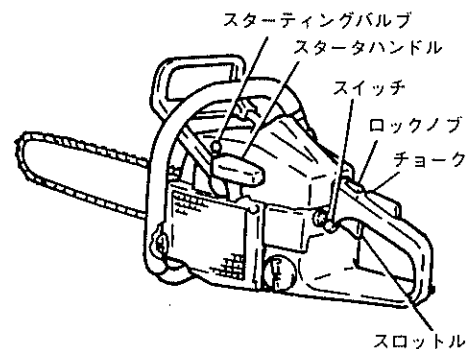
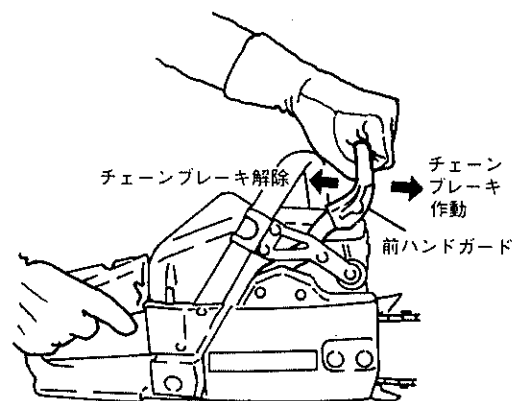
- 給油した場所からすくなくとも3 m離れた所でエンジンを始動させてください。
 - ・引火・火災の原因になります。

⚠ 注 意

- エンジンは、ガイドバー、チェーン刃を確実に取り付けてから始動してください。
 - ・確実にないと、はずれたりして、事故の原因になります。
- エンジンを始動させる前に、チェーン刃が地面や樹木その他の障害物に触れていないことを確かめてください。
 - ・チェーン刃が地面や樹木その他の障害物に触れていると、事故の原因になります。
- エンジンを始動するときは、周囲の人や障害物に十分注意して、必ず一人で操作してください。
 - ・事故の原因になります。

1. エンジンが冷えている場合の始動

- ①チェーンブレーキを作動状態にしてください。
- ②スターティングバルブを押込んでください。
- ③スイッチを「I」の位置にして、チョークを手前に引いてください。
- ④ロックノブを押えながらスロットルを引いてください。
- ⑤ロックノブを押えたままスロットルを静かに戻してください。スロットルは少し引いた位置で固定されます。
- ⑥後ハンドガードを足で押え、また片手で前ハンドルを押えて、スタータハンドルをゆっくり引き出します。
- ⑦スタータハンドルに抵抗を感じたら勢いよく引き出し、最初の爆発音がするまで繰り返してください。
- ⑧爆発音がしたらチョークを戻し、再びスターティングバルブを押込んでスタータハンドルを数回引いて始動させてください。
- ⑨エンジンが始動しましたら、直ちにスロットルを引いてスロットルのロックを解除し、チェーンブレーキを解除してください。
- ⑩1～2分間スロットルを引いたり、戻したりを繰り返して、暖気運転してください。
- ⑪エンジンの回転が安定し、低速から高速回転にしたときに滑らかに加速するようになれば暖気運転完了です。



注

- チェーンブレーキは、エンジン始動後直ちに解除してください。
- チョークを引いたまま、スタータハンドルを繰り返して引き続けると、燃料を吸込みすぎてエンジンが始動しにくくなります。
- 燃料を吸込みすぎたときは、スパークプラグをはずしてスタータハンドルをゆっくり数回引いて余分な燃料をだしてください。またスパークプラグの電極部を乾かしてください。

2. エンジンが暖まっている場合の始動

①スターティングバルブを押込んでください。

②スイッチを「I」の位置にして、スタータハンドルを引いてください。

③スタータハンドルを引いてもエンジンが始動しないときは、チョークを手前に引き、スタータハンドルを1回引いてください。

④チョークを押し戻し、再びスタータハンドルを数回引いてください。

このとき、スターティングバルブが戻っていましたが、再びスターティングバルブを押込んでください。

3. 停止

- チェーンソーを停止させるときは、スロットルを戻しスイッチを「0」[STOP]の位置に倒してください。

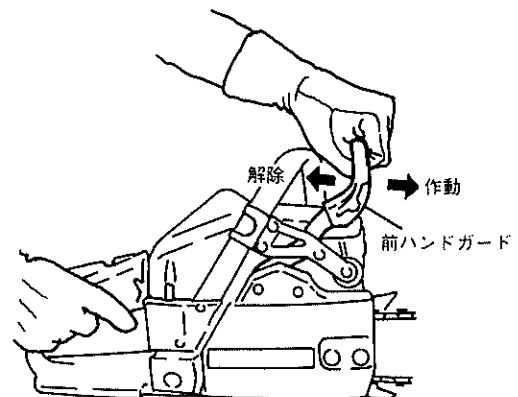
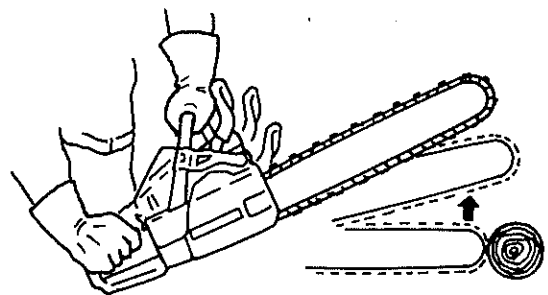
◎チェーンブレーキについて

- チェーンブレーキは、作業中に跳ね返り（キックバック）が生じたときの、危険を少なくするための装置です。

このチェーンブレーキは、ガイドバーの先端で切断したり、ガイドバーの先端が枝などに触れた場合等強い跳ね返りが発生したときに自動的に作動し、チェーン刃を瞬時に停止させます。

- また前ハンドガードを矢印作動の方向へ倒しますとブレーキが作動します。

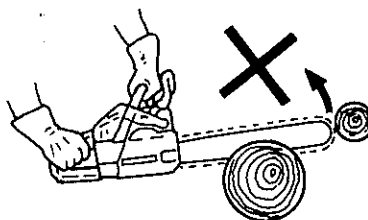
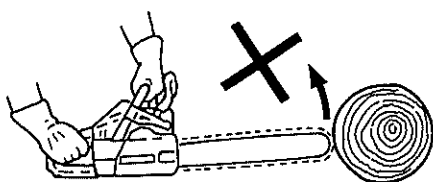
- チェーンブレーキを解除するには、前ハンドガードを矢印解除の方向へ強く引き戻してください。



● 切断作業

⚠ 警告

- 回転しているチェーン刃に、手はもちろんのこと、衣服などを近づけないでください。
 - ・けがの原因になります。
- ガイドバーの先端部では、切断しないでください。
 - ・跳ね返り（キックバック）が生じ、事故の原因になります。

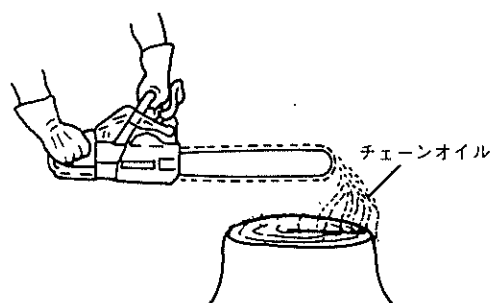
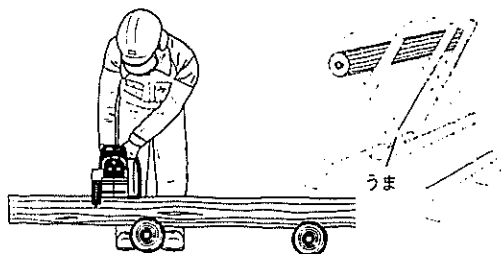


⚠ 注意

- 人が近くにいたり、障害物がある場合は、作業している場所から遠ざけてください。
 - ・けがの原因になります。
- 2台以上で作業するときは、安全な距離をおいて作業してください。
 - ・けがの原因になります。

◎ 基本的な作業

- ① 回り止めやうまなどを用いて、木材が動かないように固定してください。
- ② エンジンを始動させてください。
- ③ ハンドルを両手でしっかり握り、スロットルを引いて全速運転し、ガイドバーの先端からチェーンオイルが吐出しているか確認してください。
- ④ ガイドバーの中央部付近を木材に当てて、そのまま真下へ本機を押し付けて切断してください。
- ⑤ 切断が終了したらスロットルを戻しエンジンを停止させてください。

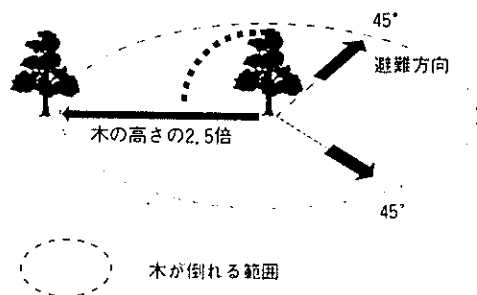


◎ 各種の切断作業例

伐木作業（立ち木を倒す作業）や造材作業（倒した木を切断する作業）をするときは、伐木等についての講習を受けたり、お買い求め先に相談して適切な指導を受けてください。

1. 伐木作業（立ち木を倒す作業）

- ① 倒す木の傾き、大きな枝の位置、風向きなどを考えて倒す方向、避難する方向を決めます。
- ② 周囲の障害物を取り除き、足場の安全を確認します。倒す木が斜面にある場合は、必ず山側に安全な足場を確保してください。

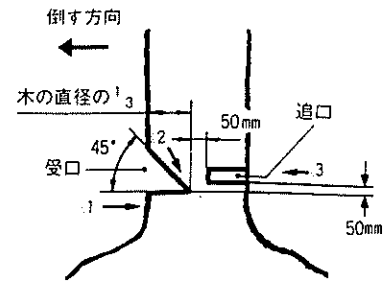


3図のように木を倒す方向に、直径の1/3程度の切り込みを1、2の順に入れて受口を作ってください。

④受口の水平部より約50mm上部に、受口の水平部と平行に追口を切り込んでください。

⑤追口の切り込みが樹心を越えますと木が倒れ始めます。

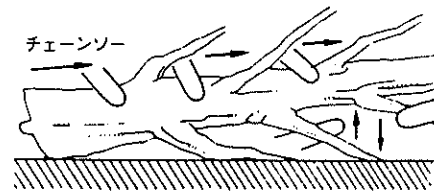
⑥木が所定の方向に倒れそうもない場合やチェーンカ、ガイドバーが挟まれたときは作業を中止し、追口にクサビを入れて倒れる方向を矯正したり、チェーンカ、ガイドバーが挟まれないようにしてください。



2. 枝払い作業

①倒した木の枝払いは、まず上部、側面の枝を一方より切り落としてください。

②次に幹を支えている大きな枝を残し、地面側の枝を下側より切り落としてください。



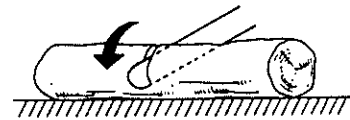
3. 造材作業（倒した木を切断する作業）

丸太の置かれている状態により切断方法が異なりますので、次のように切断してください。

1) 丸太全体が地面に接している場合

①丸太の上部から切り始め、そのまま真っ直ぐに切り下げてください。

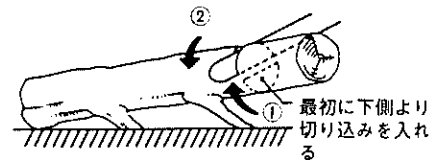
切り終わりにチェーンカが地面に触れないよう注意してください。



2) 丸太の一端が支持されている場合

①最初に丸太の下側より直径の1/3まで切り込んでください。

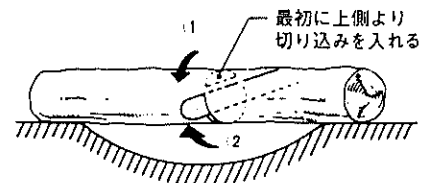
②次に下側から入れた切り込みと一致するように位置を合わせて上部から切断してください。



3) 丸太の両端が支持されている場合

①最初に丸太の上部より直径の1/3まで切り込んでください。

②次に上部から入れた切り込みと一致するように位置を合わせて下側から切断してください。



4) 斜面で丸太を切断する場合

①最初に丸太がころがって落ちないようにクサビや杭などを用いて丸太を支えてください。

②次に山側に立って、1)～3)の内の適した方法で作業してください。



●点検と整備

⚠ 注 意

- 点検整備するときは、エンジンを停止させ、エンジンが冷えてから行なってください。またスパークプラグからプラグキャップをはずしてください。
 - ・停止直後やプラグキャップを付けたままでは、やけどや不用意な始動による、事故の原因になります。

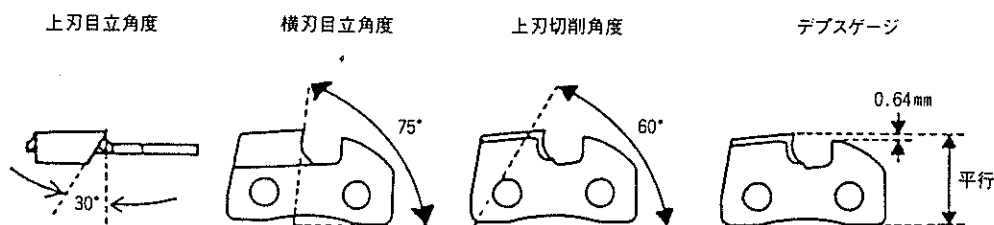
注

- 点検整備するときは、本機の汚れを落とし、ゴミやほこりのかからないきれいな場所で行なってください。

◎チェーン刃の目立て

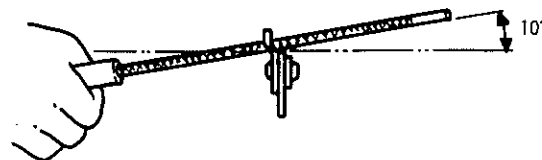
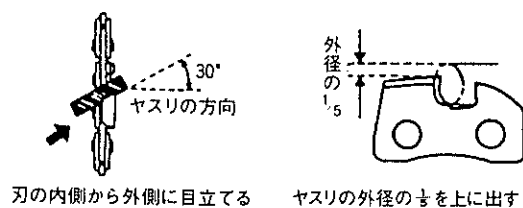
注

- チェーン刃は図のように正しく目立てしてください。特にデプスゲージの寸法が大きくなり過ぎますと、チェーン刃が切断しやすくなります。
- 刃部の目立ては、外径が4.8mmの目立て専用ヤスリを、またデプスゲージの目立てには、目立て専用平ヤスリをご使用ください。



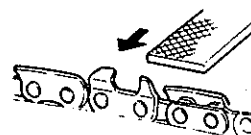
1) 上刃および横刃の目立て

- ①ガイドバーに対して丸ヤスリを30°傾け、丸ヤスリの直径の1/5が上刃よりできるようにチェーン刃に当ててください。
- ②丸ヤスリの水平を保って、押すときだけヤスリをかけ、手前に引くときは刃部にヤスリを当てないようにして、上刃および横刃の目立てをしてください。



2) デプスゲージの目立て

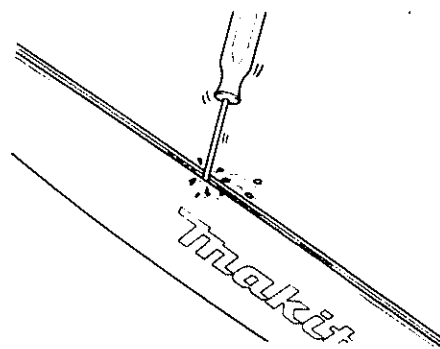
- ①平ヤスリをデプスゲージに水平に当てて目立てしてください。
- ②デプスゲージの角に丸味を付けてください。
- ③チェーン刃の目立てが終了したら、オイルに浸して切粉を洗い落としてください。



◎ガイドバーの清掃

- ・ご使用中に、切り屑がガイドバーにつまることがあります。

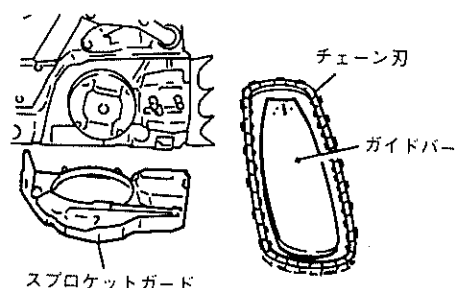
切り屑がガイドバーの溝につまると、チェーンオイルがチェーン刃全体に行き渡らなくなります。チェーン刃を目立てや交換するときに、ガイドバーの溝に入った切り屑を除去してください。



◎チェーンブレーキ、スプロケットガードの清掃

- ①スプロケットガードをとりはずし、調整ネジを左に回してゆるめ、ガイドバーとチェーン刃をとりはずしてください。

- ②クラッチ、ブレーキバンド、その周辺をブラシを使って清掃してください。



注

- ・チェーンブレーキは、安全に作業するための重要な装置です。常に点検をしてください。ブレーキの作動が不確実な時は最寄りのマキタ直営事業所にお申しつけください。

◎エアフィルタの清掃と取り替え

エアフィルタが目詰まりするとエンジン不調の原因になります。作業終了後には、次の要領で清掃してください。

- ①ほこりなどがキャブレタに入らないように、チョークを手前に引いてください。

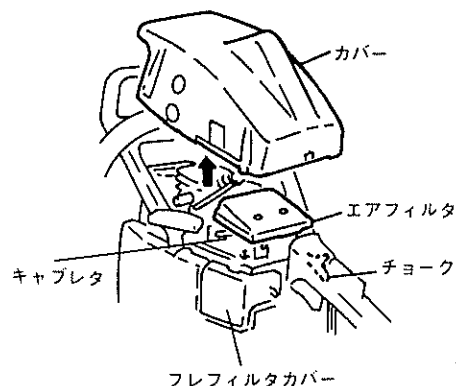
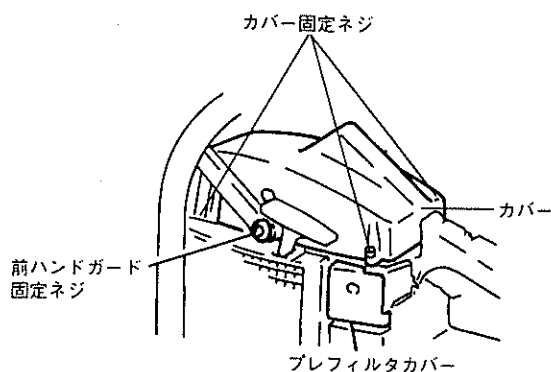
- ②カバーのネジ（3本）と前ハンドガード固定ネジをゆるめて、カバーをはずします。またプレフィルタカバーのネジをゆるめてとりはずします。

- ③エアフィルタのネジをゆるめ、エアフィルタをとりはずします。またプレフィルムもとりはずしてください。

エアフィルタをとりはずしましたら、エア取り入れ目におおいをして、ほこり等がキャブレタ内に入らないようにしてください。

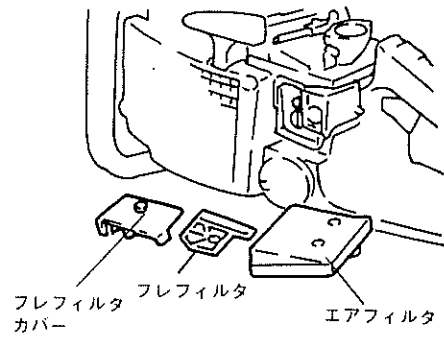
- ④エアフィルタは、軽く叩くかブラシを使うかまたはコンプレッサを使用してゴミやほこりを落としてください。

特に汚れがひどいときは、洗剤でよく洗い十分乾かしてから使用してください。



⑤エアフィルタがほろほろになったり、破損している場合は、新品と交換してください。

⑥エアフィルタの清掃が完了したら、エアフィルタ、カバー、プレフィルタ、プレフィルタカバーを取り付け、チョークを元に戻してください。

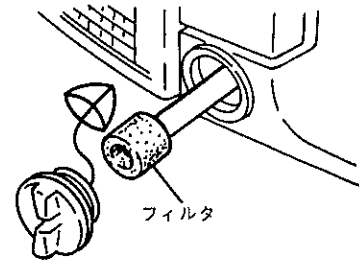


◎燃料タンクフィルタの取り替え

燃料タンクのフィルタがつまるとエンジン不調やエンジン故障の原因になります。定期的に点検してください。

①燃料タンクのふたを開けてガソリンを抜いてください。

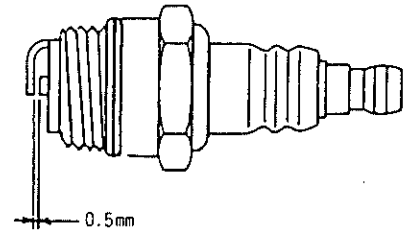
②次に針金などを使ってフィルタを燃料注入口から引き出し、燃料管からフィルタを引き抜いて新品と交換してください。



◎スパークプラグの点検と整備

①カバーをはずして、スパークプラグをはずしてください。

②電極の隙間が0.5mmになっているか確認してください。
もし広がりすぎたり狭すぎる場合は調整してください。



③カーボンが溜まったり、汚れている場合はきれいにしてから取り付けてください。
また摩耗したり、焦げているものは新品と交換してください。

④スパークプラグの点検が終了しましたら、カバーを取り付けてください。

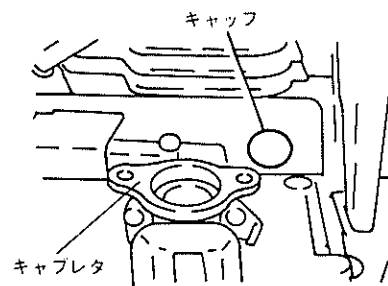
◎キャブレタ（気化器）の調整

•キャブレタは工場出荷時に調整してあります。むやみに調整しないでください。
もし調整が必要になりましたら、最寄のマキタ直営事業所にお申しつけください。

寒冷時の運転

冬期など気温が氷点下のときは、キャブレタを凍結させないために以下の手順でキャップをはずしてください。

- (1)カバーとエアフィルタをはずしてください。
- (2)キャップを⊖ドライバを使って取りはずしてください。
- (3)エアフィルタとカバーを元通りに取り付けてください。



注

- キャップはなくさないように、大切に保管してください。
気温が高くなりましたら、キャップを再び取り付けてください。

● 格納方法

⚠ 注 意

- 格納するときは、エンジンが冷えてから燃料を抜いてください。
 - 停止直後は、引火ややけどの原因になります。
- 長期間ご使用にならないときは、燃料とチェーンオイルを全部抜き取り、乾燥したきれいな場所に保管してください。

- スパークプラグをはずし、その穴からエンジンオイルを数滴たらしてください。
- スタータハンドルをゆっくり引き、エンジン内にエンジンオイルを行きわたらせスパークプラグを取り付けてください。

全国に広がるアフターサービス網

お買い上げ商品のご相談は、最寄りのマキタ登録販売店もしくは、下記の当社営業所へお気軽にお尋ねください。

事業所名	電話番号	事業所名	電話番号	事業所名	電話番号
札幌支店	〈011〉(783) 8141	足立営業所	〈03〉(3899) 5855	東大阪営業所	〈06〉(6746) 7531
札幌営業所	〈011〉(783) 8141	大田営業所	〈03〉(3763) 7553	関西物流センター	〈0725〉(46) 6715
旭川営業所	〈0166〉(29) 0960	江戸川営業所	〈03〉(3653) 5171	南大阪営業所	〈0725〉(46) 6611
釧路営業所	〈0154〉(37) 4849	多摩営業所	〈042〉(384) 8411	奈良営業所	〈0742〉(61) 6484
函館営業所	〈0138〉(49) 9273	立川営業所	〈042〉(542) 1201	橿原営業所	〈0744〉(22) 2061
苫小牧営業所	〈0144〉(68) 2100	横浜支店	〈045〉(472) 4711	和歌山営業所	〈073〉(471) 4585
帯広営業所	〈0155〉(36) 3833	横浜営業所	〈045〉(472) 4711	田辺営業所	〈0739〉(25) 1027
北見営業所	〈0157〉(26) 9011	川崎営業所	〈044〉(811) 6167	沖縄営業所	〈098〉(874) 1222
仙台支店	〈022〉(284) 3201	平塚営業所	〈0463〉(54) 3914	兵庫支店	〈0794〉(82) 7411
仙台営業所	〈022〉(284) 3201	相模原営業所	〈042〉(757) 2501	三木営業所	〈0794〉(82) 7411
古川営業所	〈0229〉(24) 0698	湘南営業所	〈0466〉(87) 4001	尼崎営業所	〈06〉(6437) 3660
青森営業所	〈017〉(764) 4466	静岡支店	〈054〉(281) 1555	神戸営業所	〈078〉(672) 6121
八戸営業所	〈0178〉(43) 3321	静岡営業所	〈054〉(281) 1555	姫路営業所	〈0792〉(81) 0204
盛岡営業所	〈019〉(635) 6221	沼津営業所	〈055〉(923) 7811	広島支店	〈082〉(293) 2231
水沢営業所	〈0197〉(22) 5101	浜松営業所	〈053〉(464) 3016	広島営業所	〈082〉(293) 2231
郡山営業所	〈024〉(932) 0218	甲府営業所	〈055〉(276) 7212	福山営業所	〈084〉(923) 0960
いわき営業所	〈0246〉(23) 6061	金沢支店	〈076〉(249) 5701	三原営業所	〈0848〉(64) 4850
新潟支店	〈025〉(247) 5356	金沢営業所	〈076〉(249) 5701	岡山営業所	〈086〉(243) 4723
新潟営業所	〈025〉(247) 5356	七尾営業所	〈0767〉(52) 3533	宇部営業所	〈0836〉(31) 4345
長岡営業所	〈0258〉(30) 5530	富山営業所	〈076〉(451) 6260	徳山営業所	〈0834〉(21) 5583
山形営業所	〈023〉(643) 5225	高岡営業所	〈0766〉(21) 3177	鳥取営業所	〈0857〉(28) 5761
酒田営業所	〈0234〉(26) 3551	福井営業所	〈0776〉(35) 1911	松江営業所	〈0852〉(21) 0538
秋田営業所	〈018〉(863) 5205	岐阜支店	〈058〉(274) 1315	高松支店	〈087〉(841) 2201
宇都宮支店	〈028〉(634) 5295	岐阜営業所	〈058〉(274) 1315	高松営業所	〈087〉(841) 2201
宇都宮営業所	〈028〉(634) 5295	多治見営業所	〈0572〉(22) 4921	徳島営業所	〈088〉(626) 0555
小山営業所	〈0285〉(25) 5559	松本営業所	〈0263〉(25) 4696	松山営業所	〈089〉(951) 7666
水戸営業所	〈029〉(248) 2033	長野営業所	〈026〉(225) 1022	宇和島営業所	〈0895〉(22) 3785
土浦営業所	〈029〉(821) 6086	上田営業所	〈0268〉(22) 6362	高知営業所	〈088〉(884) 7811
関東物流センター	〈048〉(771) 3451	飯田営業所	〈0265〉(24) 1636	福岡支店	〈092〉(411) 9201
埼玉支店	〈048〉(771) 3462	名古屋支店	〈052〉(571) 6451	福岡営業所	〈092〉(411) 9201
さいたま営業所	〈048〉(777) 4801	名古屋営業所	〈052〉(571) 6451	北九州営業所	〈093〉(551) 3481
川越営業所	〈049〉(222) 2512	一宮営業所	〈0586〉(75) 5382	飯塚営業所	〈0948〉(26) 3361
熊谷営業所	〈048〉(521) 4647	東名古屋営業所	〈0561〉(73) 0072	久留米営業所	〈0942〉(43) 2441
越谷営業所	〈0489〉(76) 6155	知多営業所	〈0569〉(48) 8470	佐賀営業所	〈0952〉(30) 6603
前橋営業所	〈027〉(232) 5575	岡崎営業所	〈0564〉(22) 2443	長崎営業所	〈095〉(882) 6112
高崎営業所	〈027〉(365) 3688	豊橋営業所	〈0532〉(46) 9117	佐世保営業所	〈0956〉(33) 4991
両毛営業所	〈0276〉(46) 7661	四日市営業所	〈0593〉(51) 0727	熊本支店	〈096〉(389) 4300
千葉支店	〈043〉(231) 5521	津営業所	〈059〉(232) 2446	熊本営業所	〈096〉(389) 4300
千葉営業所	〈043〉(231) 5521	伊勢営業所	〈0596〉(36) 3210	八代営業所	〈0965〉(43) 1000
市川営業所	〈047〉(328) 1554	京都支店	〈075〉(621) 1135	大分営業所	〈097〉(567) 3320
成田営業所	〈0478〉(73) 8101	京都営業所	〈075〉(621) 1135	宮崎営業所	〈0985〉(26) 1236
木更津営業所	〈0438〉(23) 2908	福知山営業所	〈0773〉(23) 7733	鹿児島営業所	〈099〉(267) 5234
柏営業所	〈04〉(7175) 0411	大津営業所	〈077〉(545) 5594	沖縄営業所	大阪支店の欄をご覧ください。
東京支店	〈03〉(3816) 1141	彦根営業所	〈0749〉(22) 6184		
東京営業所	〈03〉(3816) 1141	大阪支店	〈06〉(6351) 8771		
中野営業所	〈03〉(3337) 8431	大阪営業所	〈06〉(6351) 8771		

株式会社マキタ

愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502

TEL.0566-98-1711 (代表)